

### 『手話の違い』（3月9日配信）

手話の表現をします。朝霞市内で手話が通じないことがあります。おそらく群馬手話を時々使ってしまうのが原因だと思います。その手話の違いを表現します。『水』の表現はこうですよね。群馬ではこのように水を表現します。

次は『星』です。このように表しますが、群馬ではこのように星型を表現します。

『茶色』は群馬ではこのように表します。『素晴らしい』の表現は、このように表すんです。『すごい』は、このように表しますが、群馬では頬の付近で表現します。『山』は、群馬では両手を使用してこのように表します。

よくあるのが、会話の中で『水』を群馬の表現であらわしてポカンとされてしまうことです。あれっと思い、水の表現が違ったと気が付くのです。だから水曜日の表現も同様に違います。あ、土曜も違いますね。ばれるという表現も違います。その他にも数字の表現が違います。16から19までの表現はこうですよね。でも群馬では、このように親指が動きます。群馬手話が身についているので、無くすこともできません。表現してしまいわからないときには言ってください。お教えしますよ。